

本会議での一般会計予算案に対する 賛成・反対の意思表示の要旨

3月27日の本会議で平成20年度一般会計予算案に対する表決に先立ち、各会派から賛成・反対の意思表示が行われました。会派がまとめたその要旨を、一定のスペース内で様式は自由に掲載しています。

いまこそ全職員一丸となり、 課題の克服を！

公明党 さの久美子（所属4名・賛成）

初めに、長きにわたる予算編成作業と予算審査への職員の皆様の真摯な対応と努力に対し、こころより感謝の意を表したい。

まず、3年目を迎えた枠配分方式予算も2億3千万円の経常経費削減したことや、臨時財政対策債の借り入れを見送り、後世に負担を残さなかったことに対し評価をしたい。

評価すべきこと ①妊婦健診公費拡大5回無料化②小学校へのスクールカウンセラーの配置③JR国分寺駅のエレベーター・エスカレーター設置事業の20年度完成とその後の西国分寺駅事業目途が明確になったこと

要望すること ①「障害者就労センター」の更なる充実②「東京しごとセンター多摩」との綿密な連携③昨今の凶悪犯罪の原因分析から「食生活の乱れが自制心に弊害を及ぼす」と警告する識者の見解をとらえ「食育」の更なる取組み

予算審議の中で、何点か問題点が明らかになった。最たるものは国分寺駅北口再開発事業の予想外の事業費増大である。要因はさまざまであろうが、見通しの甘さは否めない。その影響は大きく、当面庁舎建設を延伸せざるを得なくなったと同時に、大幅に遅れている都市計画道路3・4・6号線立交化の今後の進捗にも波及する恐れもある。このような事態の中においても私たち公明党は、つぎのことを求めたい。

1. 市民や子どもたちの命をまもる公共施設の耐震化計画は遅滞なく実行すること 2. 少子高齢化社会において増加する民生費のためにも、着実な行政改革の推進 3. 市民サービスの低下だけは絶対避けること 4. 市長を先頭に全職員が一丸となり、課題の克服に全力を尽くすこと

以上の評価と要望を踏まえつつ、公明党市議団は平成20年度予算案に賛成とする。

老人、障害者、児童福祉費の 充実を高く評価

自由民主党市議団 新海栄一（所属4名・賛成）

昨年度、星野市政は5つの大きな事業、1) 中学校給食の実施、2) 乳幼児医療費の小学校就学前までの無料化の実現、3) 国分寺駅北口再開発の計画決定・告示、4) 都市計画道路国346号線、西武多摩湖線踏切の拡幅、5) 建築確認事務を東京都から市へ移管。等を完了させ、教育、医療、福祉、道路、建築行政の幅広い分野にわたって大きな実績を残したことを高く評価する。

平成20年度一般会計予算も、福祉の充実を基本とした、市民が必要としている諸施策を確実に推進できる堅実な予算編成となっている。

以下に主要事業の概要を示し賛成討論とする。

1) 老人福祉、心身障害者福祉、児童福祉などが含まれる民生費は5億3,562万円増で、126億7,051万円に達し、予算総額361億9,700万円の35%を占めており、充実した内容となっている。

2) 特に老人福祉費は前年度比38.18%の増加、老人医療費も36.3%と大幅に増加させており、長年にわたって国分寺市を支えてくださったお年寄りへの感謝の心がよく現れた「おもしろい予算」となっている。

3) 心身障害者福祉費は9,900万円増の19億5,356万円に達し、民生費総額の15.5%を占めている。

4) 児童保育費は5,150万円増の11億3,492万円、市立保育園費も3億7,860万円増の18億1,631万円の大きな伸びを示し、さらに母子保健費に至っては42.33%増という驚異的な伸び率を実現し、星野市長のお母さんと子供たちに対する温かい心遣いが十分に現れている予算といえる。

5) 都市計画道路国328号線は事業決定を受けて、都と協力して予定地域の権利者の要望を十分に計画に反映させて推進してほしい。

6) 国分寺駅北口再開発は事業費の削減に努め事業協力者の選定、基本設計、権利変換と予定どおり進めていただくことを要望しておく。

住民福祉守る責任を全うする 財政運営を

日本共産党国分寺市議団 やなぎ孝義（所属4名・反対）

《再開発事業費の抜本的縮減を》

未曾有の規模に膨張した国分寺駅北口再開発事業の頭出し予算となっていることが最大の特徴。借金も含めた市の負担が36億円も増えた。ビル建設経費に算入すべき経費を、10億円近くも市負担としたことは道理が通らない。今後さらに市負担が増える可能性があることは重大な問題である。

《市役所新庁舎建設について》

再開発事業費の膨張によって、新庁舎建設は先送りの事態を招いた。市民は移転という重大問題に苦悩し、市政への信頼を著しく損ねた。市長はこれを深く認識するべきだ。

《西武国分寺線立交化について》

立交化工事の事業費は約30億円となり、今後の用地買収費用は不明なままである。市民が求めているのは、生活道路を分断する立交化ではない。暫定平面立交に向けて、あらゆる可能性を追求することを求める。

《ひかり保育園の民営化について》

市長は園舎建替えに便乗して、公立保育園を廃止し民営化するという方針を打ち出した。意味を示せないまま「公的責任」という言葉をもてあそんできた政治責任は重大である。公設公営でのひかり保育園本園舎計画を一日も早くつくることを求める。

《都からの特定行政庁移管について》

「違反建築根絶」が不可能であることは、市長本人の自宅をめぐるいきさつで明らかになった。移管強行により年間1億円もの新たな負担を増やした市長の責任は重大である。

《自衛隊入隊予定者激励会について》

制服自衛官出席の下、議会委員会室で「激励会」が行われている。明確な法的根拠無く自衛隊を特別扱いすることはやめるべきだ。

財政健全化の為に 事業の選択と予算の精査を

民主市民クラブ 興津秀憲（所属3名・賛成）

国分寺駅北口再開発の事業費が対前年度比73億円の大増額となった。事業費各項目の徹底的な精査と大胆な削減を求める。これ以上の事業延伸は「時の損失」になる。速やかな進捗を望む。その為にも庁舎建設の凍結は当然だが、予算提案に当たりこの事態を招いた責任は重い。国3・4・6号線の西武国分寺線の立体交差化は大きな事業費を必要とする。関連予算の凍結を求め、アンダーパスにこだわらない事業手法の選択にむけ、あらゆる方策を講じる事を望む。

歳入について。
法人市民税の減収が見込まれている。市内商工業者へのきめ細かい対策を求める。駅前自転車対策に鉄道事業者の負担を求めるべきだ。又、駅ナカへの課税も検討すべきだ。放置自転車の撤去費は増額すべし。建築確認手数料は受益者負担の原則から改正を求める。ふんバスは連結決算を求める。又、運行に当たり基本的な方針を明確にすべきだ。ふるさと納税・ミニ公募債ネーミングライツ等を研究すべきだ。

歳出について。

経常経費の3%削減は支持する。しかし社会経済状況の変化に照らし、弾力的な運用を求める。指定管理者制度・市場化テスト等を活用し税の効率的運用に徹すべし。保育園は交付金の見込める民営化を積極的に選択し、速やかな待機児解消を図れ。国分寺駅のエレベーター・エスカレーターの設置は計画通り今年度の竣工を期待する。市政運営に向け業務量調査の結果を反映すべき。

最後に。議会全員一致で可決した20年度予算の西武国分寺線に係る決議に対しては、市長の真摯な対応を求め、市民生活への影響に配慮し、本予算に賛成する。

閉会中の委員会 開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成20年第1回定例会から第2回定例会の間に開催する委員会は下記のとおりです。

4月10日(木) 国分寺駅周辺整備特別委員会
17日(木) 総務委員会
18日(金) 自治基本条例審査特別委員会
21日(月) 庁舎建設特別委員会
22日(火) 建設環境委員会
24日(木) 厚生委員会

※委員会は市役所本庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分（4月10日開催の国分寺駅周辺整備特別委員会は午後1時）から開始予定です。

議事担当（内468）

次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成20年第2回定例会は、6月2日(月)から開会の予定です。

※次回の議会から開催場所が変更となります。本会議は市役所**仮設庁舎**3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当（内468）